地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	石川県	事業実施主体	石川県、七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町	地域再生計画名	能登の里山里海再生計画
計画期間	平成28年度～令和２年度	評価責任者	石川県農林水産部農業基盤課長、石川県農林水産部森林管理課長、七尾市土木課長、輪島市土木課長、珠洲市建設課長、羽咋市地域整備課長、志賀町まち整備課長、宝達志水町地域整備課長、中能登町土木建設課長、穴水町基盤整備課長		

	指標		基準値	基準年度	中間目標値	年度	中間実績	最終目標値	基準年度	中間評価	中間目標の達成状況 指標総数	達成数	中間目標値の実現状況に関する評価
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標１	観光交流の活性化による観光入り込み客数の増加	6,932 千人/年	Ｈ２６	8,426 千人/年	Ｈ３０	（推計） 7,938 千人/年	9,174 千人/年	Ｒ２	△			H30の統計データが未公表のため新幹線開業以降H28.H29からの推計値を用いたが、中間目標値に対する達成率は94%である。年々観光入り込み客数は増加傾向にあり、引き続き目標達成に向けて事業の促進を図りたい。
	指標２	道路の狭隘区間の解消など円滑化による交通事故の減少	315件	Ｈ２７	253件	Ｈ３０	220件	219件	Ｒ２	○	4	2	中間目標値を達成している。 引き続き道路整備の進捗を図り、狭隘区間の解消に努めることで最終目標を達成できる見込みである。
	指標３	基盤整備の推進による新規就農者数の増加	43人/年間	Ｈ２７	44人/年間	Ｈ３０	73人/年間	45人/年間	Ｒ２	○			中間目標値の約1.7倍の数値となっており、目標達成の見込みである。
	指標４	基盤整備の推進による間伐材供給量の増加	48,502 m3/年	Ｈ２７	82,130 m3/年	Ｈ３０	52,013 m3/年	98,944 m3/年	Ｒ２	△			中間目標を達成しておらず目標値に対して達成率が６３％である。進捗は遅れ気味ではあるが、林道整備が完了していることから今後は保全対策に重点を置き、目標達成に向けて引き続き計画に則した整備の促進を図りたい。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標１												
	指標２												

③事業の進捗状況		事業名	整備量（その他の事業では取組内容） 計画	中間年度（Ｈ３０）	最終実績見込み	事業の進捗状況に関する評価
	特別措置を適用して行う事業	市町道整備事業（整備延長）	39,700m	17,000m	39,700m	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は約43%であり若干の遅れはみられるものの、最終年度までに主要な改築事業は完成見込みであるため引き続き計画に則した整備を目指していく。
		広域農道整備事業（整備延長）	2,500m	505m	2,500m	計画延長の約2割の整備が完了しており、R元年度には新たに約1.4kmの整備が完了することから、最終実績は達成できる見込みである。引き続き事業を促進し、市町道、林道との一体的な整備により事業効果の発現を図っていく。
		広域農道の保全対策（路線数）	7路線	2路線	7路線	計画路線のうち2路線の対策が完了している。残り5路線については事業実施中であり、最終実績は達成できる見込みである。引き続き事業を促進し安全性の確保を図っていく。
		林道整備事業（整備箇所数）	橋梁１箇所	橋梁１箇所	橋梁１箇所	平成28年度末に最終実績を達成することができ、地震時など有事に対する間伐材等の林産物の運搬路の安全を確保することで間伐材の供給に寄与している。
		林道の保全対策（路線数）	41路線	25路線	41路線	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は約60%であり概ね計画通りである。今後も引き続き計画に則した整備を目指していく。
	その他の事業					
	計画外で独自に実施した事業	合宿誘致事業	学生団体がクラブ等により市内の宿泊施設に宿泊した場合、助成金を支給。			H１９から事業を実施しており(H28 20,889人泊、H29 20,465人泊、H30 18,353人泊の助成金を交付)、今後も継続的に実施することで、交流人口の拡大に寄与するものである。
		修学旅行誘致事業	学生団体が修学旅行により市内の宿泊施設に宿泊した場合、助成金を支給。			H１９から事業を実施しており(H28 913人泊、H29 1,322人泊、H30 1,447人泊の助成金を交付)、今後も継続的に実施することで、交流人口の拡大に寄与するものである。
		コンベンション・スポーツ大会等誘致事業	七尾市の区域内において開催され、かつ、市内の宿泊施設における宿泊を伴うコンベンション、スポーツ大会に対し補助金を交付。			H23から事業を実施しており(H28 6,692人泊、H29 10,980人泊、H30 6,056人泊の助成金を交付)、今後も継続的に実施することで、交流人口の拡大に寄与するものである。
		マリンタウン大型客船誘致事業	輪島市の海の玄関口マリンタウンに大型客船を誘致し多くの観光客を呼び込む。寄港時は「日本一のおもてなし」を掲げ市民総出による送迎行事を実施し観光地としてのイメージアップに繋げる。			旅行会社や船会社への誘致活動、大都市圏での宣伝活動、官民協働での大型客船の歓送迎などを実施しており(H28 6隻 1,265人、H29 3隻 1092人、H30 4隻 1,686人)、 今後も事業を継続することで交流人口の拡大及び輪島市の魅力発信 に寄与するものである。
		千里浜再生プロジェクト	日本国内で唯一の車で走れる砂浜である「千里浜なぎさドライブウェイ」の海岸保全と利活用推進に関する住民意識の向上を図ることを目的としたイベントを開催。			千里浜海岸で行われる千の浜守人（ハーモニー）や「千」の輝き等のイベントを通して住民の海岸保全や利活用推進の意識向上を図り、プロジェクトの一環である一人一砂運動では年々参加者も増加しており、交流人口の拡大に寄与するものである。
		道の駅「のと千里浜」の整備	地域交流拠点及び防災拠点としての道の駅整備。			平成29年度に道の駅「のと千里浜」が竣工、開駅し来客数はH29年度235,366人、H30年度292,672人と年々増加していることから交流人口の拡大に寄与するものである。 さらに地域住民の避難場所等、防災の拠点としても整備されており地域住民の安全安心な生活にも寄与するものである。
		地域交流型合宿等助成金交付事業	町外の高校生以上の団体が、サークルやゼミ等の合宿で町内施設に述べ３０泊以上した場合、助成金を支給。			年々、助成金の申請が増えており H26年度の17件からH30年度は約2倍以上となる36件の申請があった。本助成金を申請する団体にはリピーターも多く、交流人口の拡大に寄与するものである。
		宿泊振興レンタカー利用助成金交付事業	石川・富山県内のレンタカー会社で志賀町内指定の宿泊施設で宿泊する旨を伝えることで、助成券を宿泊施設に提示することで、宿泊代金からレンタカー車輌に応じた助成額が差し引かれる。			本助成金を利用し町外や富山県からレンタカーを利用し観光に訪れる人が年々増えており、本助成金の申請数がH26年度の347件からH30年度は894件に増加していることから、交流人口の拡大に寄与するものである。
		首都圏及び北陸新幹線沿都市観光プロモーション事業	首都圏からの観光誘致を前面に打ち出し、国際観光都市・金沢を始めとする北陸観光の魅力をプロモーションし、穴水町へ観光のPRを推進していく。			首都圏で北陸観光の魅力をPRするイベントを実施しており、のと里山空港の搭乗率は現在も好調である。、「能登ワイン」や「のと里山里海号」といった穴水町の観光素材の利用も堅調であることから、引き続きイベントを実施し交流人口の拡大につなげていく。
		東海北陸道、中京圏観光ＰＲキャンペーン	東海北陸自動車道の全線開通により、中京圏から本町へのアクセスの向上に伴う観光客の増大と、魅力ある本町の観光地のPRを推進していく。			県外での観光キャンペーンの実施や昇龍道フリーパスきっぷのリニューアル等により、個人旅行客、インバウンド旅行客等の入込数の増加が見られることから、引き続き活動を行い交流人口の拡大につなげていく。
		森林整備地域活動支援交付金事業	森林施業の集約化に必要な森林情報の収集、境界確認等の諸活動に対して支援する事業で、中でも森林施業の実施の基盤となる既存の作業路網の改良を行う活動に対して支援を行う。			国土の保全、水源のかん養等森林の有する多面的機能が十分発揮されるよう、森林施業の集約化に必要な森林情報の収集および境界確認等の諸活動に対する支援を行い、特に森林施業の実施の基盤となる既存の作業路網の改良について整備の促進を図った。
		森林環境保全整備事業	面的にまとまって計画的に行う搬出間伐等の森林施業と、これと一体となった森林作業道の開設を行う。			林業生産活動等が継続的に実施される仕組みを作り上げることを目指し、森林経営計画、森林施業計画の認定を受けた方等に造林、下刈り、除伐、間伐等の森林整備作業の支援を行い、面的にまとまって計画的に行う搬出間伐等の森林施業と、これと一体となった森林作業道の整備の促進を図った。

④評価方法	評価委員会を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。
⑤中間評価の公表方法	各事業主体のホームページに掲載
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、地方創生道整備推進交付金を活用した市町道、広域農道、林道整備等を一体的に行うことにより、観光地間のアクセス向上や、産業振興の物流強化による交流人口の拡大を図るとともに、狭隘区間の解消や広域農道の整備により、安全・安心な走行空間の形成を促進し、また、重要構造物の耐震化や点検等を進めることで、災害に強い生活道路を確保することで、能登の自然豊かな魅力を生かした「能登の里山里海再生」を目指すことを目的としている。 数値目標の指標については概ね達成している状況にあることから、引き続き地域再生計画の事業展開を通じて「能登の里山里海再生」を目指す。

⑦今後の方針等	中間評価結果の反映状況	有りの場合その具体的内容
	地域再生計画の見直し （ 有 ・ ○無 ）	
	令和２年度交付金要望額への反映 （ 有 ・ ○無 ） 有りの場合の増減額	

⑧今後の方針等に対する対応	引き続き計画に則した事業の促進を図る。